

# 「物理教育」投稿規程

## 1 投稿できる人

会誌に投稿できるのは本学会員（名誉会員，正会員，賛助会員）の資格を有する者に限ります。共著者に非会員を含めることは可能ですが，筆頭著者（投稿者）は会員でなくてはなりません。なお入会申請中も投稿可能ですが，審査は入会が認められた後に行われます。

## 2 投稿できる内容

会誌に投稿できるテーマは，物理教育に関するオリジナルで未発表な報告であり，投稿原稿自体が固有の価値を有するものです。具体的には摘要において種別ごとに規定します。

## 3 投稿の種別および掲載

本学会誌の投稿原稿の種別には次のものがあります。

種別A（査読付き学術論文）

①研究論文 ②研究報告 ③論説 ④研究短報 ⑤私の工夫・私の実践

種別B（閲読で掲載する記事）

⑥日々の試行・取組 ⑦談話室 ⑧ワンポイント ⑨図書紹介 ⑩製品紹介 ⑪会員の声

種別C（種別Aの投稿に対するコメント）

⑫コメント

種別Aはいずれも査読審査を経て掲載される学術論文です。種別Cも査読審査を経て掲載されます。いずれも物理教育の視点から読者の興味に合致し掲載に値するものである必要があります。種別Bは閲読のうえ掲載されますが，営利目的のもの，特定の個人・団体の名誉を傷つけるもの，国際的な問題を生じる恐れの高いもの，読者にとって価値が乏しいと判断されるものについては掲載をお断りすることがあります。投稿原稿の採否は編集委員会で決定されます。

種別A（査読付き学術論文）

種別	摘 要	ページ数	備 考
①研究論文	◇ 物理教育に関するはっきりとしたオリジナリティを主張する論文で十分な考察が行われているもの	刷り上がり 8ページまで	抄録を付ける
②研究報告	◇ 教育指導等の進展に寄与と思われる新規な教育実践の報告 ◇ 新規に開発した実験・器具・教材等の報告 （教育実践ないし試行を伴ったものが望ましい） ◇ 物理教育に新規かつ重要な情報を提供する資料調査，実地調査または実験データに関する報告（科学史研究を含む） ◇ 物理の理論や現象に関する新規な解釈等 （教育上の意義が明瞭で，教育実践を伴ったものが望ましい）	刷り上がり 6ページまで	抄録を付ける
③論説	◇ 教育に関する新規かつ優れた提案・比較検討等 ◇ 物理の理論や現象に関する新規な解釈，優れた主張・解説で物理教育の視点から読者の興味に合致する論説	刷り上がり 6ページまで	抄録を付ける

④研究短報	◇ 新規性の高い実験・器具・教材等の開発報告 ◇ 新規な実験データおよび考察 ◇ 物理の理論や現象に関する新規な解釈等	刷り上がり 4ページまで	抄録なし
⑤私の工夫 ・私の実践	◇ 新しい視点での物理教育に関する工夫，授業実践の報告	刷り上がり 4ページまで	抄録なし

種別B（閲読で掲載する記事）

種別	摘 要	字数
⑥日々の試 行・取組	◇ 物理教育に関する試行等 ◇ 物理教育に資することを目的とする活動や取組等	刷り上がり 4 ページまで 種別A ④～⑤の原稿の書式に準じる
⑦談話室	◇ 物理教育に関する種々の提案・意見等 ◇ 物理に関する話題提供や提案 ◇ 教育制度・環境・試験に関する意見等 ◇ 物理教育に関する気軽な発言・呼び掛け	刷り上がり 2 ページまで 種別 A ④～⑤の原稿の書式に準じる
⑧ワンポイント (One Point)	◇ 授業等での生徒の意外な反応 ◇ 授業を進める上でのヒント ◇ その他，話の種等	本文 25 字×75 行以内
⑨図書紹介	◇ 物理・物理教育に関わる優れた書籍の紹介 ◇ 物理・物理教育等の新刊情報 本誌で未紹介のもの 1 回に限ります。 (著者・出版社からの投稿も可。)	書籍紹介は 本文25字×75行以内 新刊情報は 本文25字×15行以内
⑩製品紹介	◇ 実際に試用し，物理教育に大変有用と判断した 製品（実験器具，測定器，素子，コンピュータ 周辺機器，ソフト等）の紹介	本文 25 字×75 行以内
⑪会員の声	◇ 掲載論文・記事に対する意見，本会に対する意見・ 要望，教育に関する話題の提供や意見等	本文 25 字×75 行以内

※ ページ数は刷り上がりページ数の上限です。上限値にかかわらず，冗長な表現を避け，できるだけページ数を抑えるようにしてください。

※ ワンポイントは主に空いたスペースを埋めるのに使わせていただきますので，掲載が遅れる場合もあります。

種別C（種別Aの掲載論文に対するコメント）

種別	摘 要	ページ数
⑫コメント	◇ 掲載論文に対する批判・議論（誤りの指摘，引用すべき重要な先行研究の指摘等）	刷り上がり 2ページまで。種別 A ④～⑤の原稿の書式に準じる

※ 本会誌に掲載された論文に対する異論・批判を含む投稿論文は「コメント」として扱い，原論文の著者（原著者）に提示します。原著者は，編集委員会に対して意見を提出すること，さらに，希望があれば当該論文に対する「応答」を提出することができます。ただし，この「応答」も編集委員会が査読審査を行い，採否を判断します。「コメント」や「応答」の審査には，他の投稿原稿の場合と比較して長い日数を要する場合があります。

#### 4 執筆にあたって

表題	和文35文字以内（原則として） 投稿票には英文表題も必ず記入してください	内容のポイントを表現するのに必要かつ最小限の簡潔なものにすること。（同一題目での第2稿を予定されている場合にも、第2稿以降の掲載は未定ですので、「その1」等の表現は避けてください。）
抄録	種別 A ①～③の場合 250字以内	抄録は書き出し文ではなく、 <u>要約（紹介）文</u> です。キーワード検索にかかるよう、論文のキーワードを抄録中に網羅するように配慮してください。
本文	種別 A の場合 最初のページ ①～③：25字×33行(2段組) ④～⑤：25字×40行(2段組) 第2ページ以降 25字×45行(2段組)	テーマとしている問題の難易にかかわらず、「何を問題にして、どういうことを行い、その結果どういう結論に達したか」の起承転結が読者に読み取れるよう、明解に書くことが基本条件です。 本文の主旨が誤解なく読者に伝わるよう、必要かつ十分な事柄を、できるだけわかりやすく書いてください。問題点を絞らずに、あれもこれも盛り沢山に書くと、主張が不明瞭になり、せっかくの研究の主旨・成果が伝わらず、読者にとって価値のないものとなってしまいます。
引用文献	著者名：誌名巻-号(年)始ページ-終ページ 〈例〉 1) 山田太郎：物理教育 47-1 (1999) 25-30.	先行研究については十分に調べ適切に引用し、そこからの発展や研究のオリジナリティを明瞭にしてください。その際引用箇所（通し番号）を上付き表示で付し <sup>1)</sup> 、末尾に著者、 <u>誌名等をまとめて列記してください。</u>

※ 種別Aで①～③には、抄録（内容の要約250字以内）を付けてください。

※ 原稿の最初のページは①～③：25字×33行（2段組）、④～⑤：25字×40行（2段組）、2ページ以降は

25字×45行（2段組）の書式で作成してください。詳しくは「**8** 原稿について(6) ページ割り振り」を参照してください。

※ 図書紹介は、著者名、書名、判型、ページ数、出版社、定価、（対象読者）、内容の概要等をお書きください。第三者推薦の場合には所属、氏名を末尾にお書きください。

※ 製品紹介は、製品名称、発売元、価格、入手方法、使用例や活用例（できるだけ図・表・データを添えて）等をお書きください。

なお執筆にあたっては次の文献を参照されることを推奨します。（J-Stageで参照可能）

霜田光一：『学会誌「物理教育」の原稿を良くするために』物理教育 52-4 (2004) 293-295.

#### 5 投稿にあたって

(1) 投稿票に必要事項をご記入の上、原稿と共に事務局宛にお送りください。

(2) 著者は投稿時に投稿内容に関する著作権法第21条から第28条までのすべての著作権を有しており、掲載決定後にはそれを本会に譲渡すること及び著作者人格権の不履行を投稿時に約束していただきます。

(3) 著者は他の著作物の図版を引用する場合には、著作権所有者の許可を自己責任で取ってください。

(4) 投稿受理後の原稿の書き換えは、編集委員会からの意見による修正以外はできません。修正稿との差替えは掲載辞退の上再投稿の扱いとなります。また、著者校正での内容の加筆訂正や図版等の差し換えについても、編集委員会の判断で再度、審査させていただくことがあります。

(5) 審査料はいただいておりません。

(6) 本誌に投稿中の論文は、初回投稿時の原稿のみ国立研究開発法人科学技術振興機構のプレプリントサーバ Jxiv に掲載することができます。その際には、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス (CC) として「著作権の保持」、「商用利用の禁止」、「改変禁止」を宣言し、本誌に投稿中である旨を書誌情報に記載し、掲載後はジャーナル公開版へのリンクの設定等適切に書誌情報の更新を行ってください。再投稿原

稿や校正原稿などの修正原稿のプレプリントサーバJxivへの掲載はお断りいたします。

- (7) 著者校正は初校のみです。
- (8) 種別Aの投稿原稿の掲載は原則として有料（刷り上がり1 ページにつき10,000 円）です。ただし、筆頭著者1 名につき、各巻（1号から4号までの合計）、刷り上がり計12 ページまでは掲載料をいただいております。（例. 1号で8ページ、4号で6ページ掲載の場合、2ページ分の掲載料20,000円を申し受けま
- す。）なお、各種別の刷り上がりページ数上限は厳守いただくことになっており、掲載料をお支払いいただいてもページ数を超過することはできません。
- 種別B, Cの投稿原稿については掲載料をいたしません。
- (9) 別刷りはすべて有料です。（料金は初校のときにお送りする別刷り申込書を参照ください。）

## 6 審査について

- (1) 本誌では審査員が読者を代表して、投稿された論文を様々な視点から検討し、読者にとって有益な報告を精選して掲載する制度をとっています。
- (2) 原稿の掲載は、編集委員会（3ヶ月毎に開催）で複数の審査意見を参考に審議決定します。結果は指定された電子メールアドレス宛てに連絡いたします。
- (3) 返却となった場合、返却理由への対応を添えて再投稿することができます。（「コメント」と「応答」は除きます。）

## 7 同一著者の同一号掲載審査の制限

同一号に掲載する原稿の審査は、筆頭著者が同じ場合、原則として種別A、種別B(ワンポイントを除く)、種別Cにそれぞれ1編までとさせていただきます。（各号ごとに、各種別1編まで審査を受けられます。ワンポイントは掲載号がはっきりとは決まりませんので、同じ号に同じ著者からの原稿が複数掲載される場合があります。）

## 8 原稿について

### (1) 原稿の作成

◇ 原稿は原則としてMS Wordまたは一太郎で作成し、図（写真・グラフ・描画）および表も、本文中に挿入してください。

### (2) 著者名

◇ 著者氏名・所属・連絡先住所を著者毎に1 行で記入してください。  
◇ 筆頭著者のメールアドレスを、第1ページの脚注に記入してください。

### (3) 見出し

◇ 見出しは次のようお願いします。

1. ○○○○○○○○	---	ゴチ指定（2行どり、中央揃え）
1.1 ○○○○○	---	ゴチ指定（1行どり）
1.1.1 ○○○○○	---	ゴチ指定（1行どり）

### (4) 本文指定

- ◇ 見出しや強調したい箇所は、ゴシック(太字) にする。
- ◇ 単位や表記は、原則としてSI単位を使用してください。
- ◇ 単位記号、数学定数 (e,  $\pi$ , 虚数単位 i), 演算 (log, ln, sin, cos, exp, lim, d (微分),  $\delta$  (変分),  $\Delta$ ,  $\nabla \cdots$ ) の記号はローマン(立体文字) とする。
- ◇ 物理量を表す記号、変数はイタリック(斜体)とする（一例としてGeorgiaフォント斜体等）。
- ◇ **g**と**g**, **v**と**v**, **w**と**w**等は文字やフォントの指定にご注意ください。
- ◇ ベクトル表示はボールドイタリック表示を基本とします。

◇数値の後の単位には括弧を用いず、数値と単位の間には半角スペースを挿入する。(例 1.2 cm)

## (5) 図(写真・グラフ・描画)および表

◇図(写真・グラフ・描画)および表は、本文中に挿入してください。

◇本誌は白黒の刊行物ですので、図(写真・グラフ・描画)はそれを前提に作成してください。J-Stageへの搭載ファイルではカラーの図版を使用できますが、白黒印刷で意味や内容のわかる図版にしてください。また、図版で使用した色については、会誌では読み取れないことに注意してください。

◇図(写真・グラフ・描画)と表には、キャプションを付けてください。色に依存した説明は避けてください。

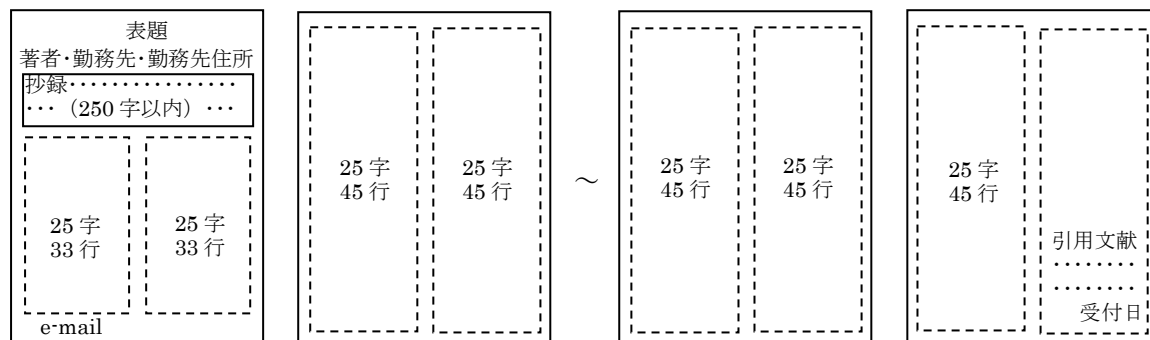
◇人物が写っている写真や、学習者の成果物を掲載する場合は、肖像権や著作権にご配慮ください。

◇写真は掲載サイズで300 dpi 以上が必要です。図版や写真はWordや一太郎への挿入前のオリジナルファイルを提出していただく場合があります。

## (6) ページ割り振り

種別Aの抄録付き原稿の刷り上がりの体裁を以下に示します。(抄録がない原稿は、最初のページが25字×40行の2段組となります。)最終ページ最後の2行には、受付日のスペースを空けてください。

最後のページに大きな余白が生じないように、できるだけ配慮してください。なお、最終ページに余白がある場合には、本文と関係ない記事等を載せることがあります。



## 9 原稿と投稿票の送付先

原稿は原則としてMS Wordまたは一太郎で作成し、投稿票 (<https://pesj.jp/publication/> よりダウンロードできます) と共に以下のいずれかの方法でお送りください。(投稿規程に合わせたMS Wordファイルの原稿雛型も、上記URLよりダウンロードできます。) 数式や図版の扱い等の理由で他の形式で入稿せざるを得ない場合には、事務局にご相談ください。

1. 電子メールの場合：件名を「投稿原稿の種別 筆頭著者氏名」とし、Wordまたは一太郎のファイルと変換して体裁を確認したPDFファイル、および投稿票を添付ファイルとして下記アドレス  
submit@pesj.jp  
にお送りください。

なお、送信する電子メールの大きさはおおよそ5 MB以内を目安としてください。

2. 郵送の場合：原稿と投稿票の入ったCD/DVDまたはUSBメモリと共に、原稿と投稿票を印刷したものをお送りください。

お送りいただいたCD/DVDまたはUSBメモリは、原則として返却いたしません。『原稿の控え』をご自身で保存しておいてください。

3. 正式に原稿を受理(Received)した後、ご投稿いただいた原稿は審査に回りますが、編集会議は各号1回(年4回)の開催となっております。原稿到着のタイミングによっては数カ月のお時間を頂戴することがございますが、何卒ご了承ください。なお、審査結果に関する事務局への電話での問い合わせには応じかねます。

## 10 不正行為の禁止

本誌に投稿する著者は、日本学術会議「声明：科学者の行動規範について

(<https://www.scj.go.jp/ja/scj/kihan/>)」における科学者の行動規範を十分理解して行動してください。

とくに、原稿執筆に当たって以下の不正行為を禁止します。

### ・二重投稿

二重投稿とは、他の著作物に掲載された内容を本誌に投稿すること、あるいは、本誌に投稿後に他の学会誌等に投稿することを指します。**投稿・審査中の原稿も二重投稿の対象となります。**同一の文章、図表を含む内容は二重投稿と判断されます。表現が異なっても、研究対象、研究方法、得られた成果が同一である内容を投稿することも二重投稿と判定される場合があります。

### ・捏造・改ざん

捏造とは、存在しないデータ、研究結果等を記載することを指します。改ざんとは、データや論文の内容等を根拠なく書き換えることを指します。

### ・盗用

盗用とは、他者の成果や知見、データや論文の内容等を自身のものとして投稿することを指します。

### ・著作権と人権の侵害

著作権の侵害とは、他者の成果、知見等を許諾なく自身のものとして投稿することを指します。人権の侵害とは、他者の著作権や、研究に関わる個人・集団(研究対象となった個人・集団や研究に関連のある個人・集団)のプライバシーや名誉に関する十分な配慮をしないで投稿することを指します。

### ・不適切なオーサーシップ

不適切なオーサーシップとは、論文の著者となる要件(成果への直接的な貢献)を満たさない者を論文の共著者にすること(ギフトオーサーシップ)や、著者となる要件を満たす者を共著者に含めないこと(ゴーストオーサーシップ)を指します。

上記の他に、社会的に重大な不正行為の疑いがある場合には、編集委員会で事実確認のうえ対応をいたします。